



ストルツフリードバーグ社との業務提携について ～グローバル展開企業向けサイバーセキュリティサービスの提供開始～

2018年3月9日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社(社長:金杉 恭三)は、高度なサイバーセキュリティサービスを全世界展開するストルツフリードバーグ社(CEO:ジェイソン・ホッグ、以下「SF社」と)と戦略的協業契約(業務提携)を締結いたしました。この業務提携により、弊社はグローバル展開企業など高度なサイバーセキュリティを必要とする企業向けに事前対策から事後対応までの一貫したソリューション提供が可能となります。あわせて、SF社の知見を活用することで保険引受時の審査能力強化に努めて参ります。

1. 背景・経緯

サイバー攻撃は増加の一途をたどっており、これらのリスクに対応するために企業のサイバーセキュリティ対策の強化は急務となっております。特に、グローバル展開を行っている企業においては、急速に多様化、複雑化するサイバーリスクに対し、世界規模で高度な対策を構築することが必要です。

弊社は、サイバーリスクに対応する「サイバーセキュリティ保険」を販売しておりますが、グローバルに事業を展開する企業において欠かすことのできない、全世界的に対応できるサイバーセキュリティサービスを保険と一体提供すべく、世界的企業との顧問契約実績を有するSF社との戦略的協業契約の締結を進めて参りました。

2. 業務提携により実現する事項

(1) 高度なサイバーセキュリティサービスの提供

弊社は、保険の提供に加え、事故を未然に防止するための事前対策のサービス、および事故発生時における初動対応や損失軽減などの事後対応サービスを全世界的に提供することが可能となります。事前サービスには、SF社の知見や高度な技術を生かしたシステム脆弱性テストや危機対応能力向上対策が含まれており、企業における極めて高度なセキュリティ対策の実現に向けて支援していきます。

(2) サイバー保険(弊社商品名:サイバーセキュリティ保険)の商品力強化や引受ノウハウ向上

SF社は全世界で発生するさまざまなサイバー攻撃に関する情報や影響(損失)発生シナリオを有しています。弊社はこれらを活用することで企業が抱える固有のリスクやセキュリティレベルに合わせた保険の設計が可能となるなど保険の引受ノウハウ高度化を進めることが可能となります。

3. SF社の概要

SF社は、サイバー犯罪捜査に従事してきたエド・ストルツ氏(元FBI特別捜査官)とエリック・フリードバーグ氏(元連邦検事)により、ニューヨークで設立されサイバーリスクマネジメントを世界規模で展開しています。特にサイバー犯罪の証拠特定や不正アクセス記録を見つけ出し全容解明につながるフォレンジック調査や事故発生時の対応(インシデントレスポンス)に強みを持ち、Fortune100社(グローバル企業の総収入ランキングトップ100)企業およびAmLaw100社(米国の主要法律事務所100社)のうち80%へサービスを提供するなど世界トップレベルの実績とノウハウを有しています。なお、SF社のインシデント・レスポンス・チームが、過去に発生した大規模な情報漏えい事件上位20件のうち12件で対応を行っており、その調査能力は高い信頼を得ています。

＜参考＞サイバーセキュリティ保険の概要

サイバーセキュリティ保険は、情報漏えいや情報システムの管理等に起因する損害賠償責任と、その際の謝罪や原因調査等にかかる費用を補償します。

補償する費用損害を充実することで、サイバー攻撃リスクに幅広く対応する商品となっています。

【本保険で補償する費用損害】（最も補償内容が広いワイドプランの場合）

サイバーセキュリティ保険ワイドプランで補償する費用		
事故対応費用	事故原因・被害範囲調査費用	社告宣伝活動費用
法律相談費用	コンサルティング費用	見舞金・見舞品購入費用
クレジット情報モニタリング費用	公的調査対応費用	情報システム等復旧費用
被害拡大防止費用	再発防止費用	サイバー攻撃調査費用

以上